



Bigmoon no.5

建築工房 大槻

白石市東町3-4-20-105

☎ 0224-25-4306

【木材について】

『木は二度生きる』という言葉を知っていますか？

この言葉は、法隆寺再建で知られている西岡常一棟梁が話し続けた有名な言葉です。

では、実際にどういう意味なのかをご説明します。
古来より数多くの神社・仏閣が現在に至るまで保存され存在しています。それらの建物は、全て「木造建築」の建物です。先ほど例にあげた法隆寺はなぜ約1400年もの長い年月耐えてこられたのでしょうか？

その理由とは、ひとつに「積み上げ構造」という建築方法であるとされています。つまり、五重塔を建てる場合、各重ごとにつくり、それらを順々に積み上げてあるのです。そうする事により、地震が起きた場合、各重が互い違いに振動して「揺れ」を吸収します。この理論は、近年、日本は勿論世界の超高層建築に採用されています。伝統的な木造建築の知恵が最先端の建築技術に生かされているのです。

しかし、これだけではありません。もうひとつ大事なことは、これらの建築物が全て「木造」であるということです。これらに使われている木材、檜を例にあげると、その強度は伐採された時から約200年間程度上昇し続けます。その間、最大で30%程度増加するといわれています。

その後は、徐々に低下していくわけですが、伐採時の強度に戻るまで1000年かかるといわれています。

これが『木は二度生きる』といわれる由来です。

鉄やコンクリートは古くなるほど強度は下がります。ここが大きく違います。その結果、現在に至るまで変わらぬ姿で存在できる訳です。また、木材は強度のみならず、調湿性・断熱性・耐震性・耐火性等優れている所がたくさんあります。ですから多くの書物や至宝が木造建築物に保管されていたのでしょう。

これらの事から、私たちの。住む日本に適した工法が「木造建築」といえるのではないのでしょうか。

家を建てたい！

とお考えの方へ！！

設計の段階から、じっくりと計画を立て、
ご自分で描く家づくりをしませか！

私たち「建築工房 大槻」は、
お客様お一人お一人と向き合い、
世界に一つだけの家づくりをしています。
夢のマイホーム！他にはない、ご自分だけの
こだわり。その想いの、ひとつひとつを大切に、
私たちが、そのお手伝いをさせていただきます。
ぜひ、お気軽にご相談下さい。

お住まいの定期健診していますか？

人間は、ほとんどの方が年に一回健康診断をします。病気の予防、早めの治療の為です。

お住まいも同じです。傷んできているところはありませんか？お住まいを長持ちさせるコツは、やはり、

定期的なお手入れです。
水廻りの傷み、外壁や屋根の老朽などもこまめな補修で、大きな痛みになることをくい止められます。一度、お住まいをゆっくり点検してみてください。

第七回住まいの相談会

6月24日(日) 午後1時～5時

「建築工房 大槻」にて
お住まいの様々なご相談受けたまわります。お気軽にご参加下さい。

参加希望の方は、ご連絡下さい。

お住まいのご相談受け賜っております。お気軽に、ご連絡下さい。

次号は、「住まいの収納」についてです。

建築工房 大槻大槻 美穂 TEL0224-25-4306

